

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) リュウツウケイザイダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ナガサワゼミ
流通経済大学	経済学部	長澤ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ナガサワゼミビー	フリガナ) ウチャマ ミオ	6	無	0
長澤ゼミ B	内山 実桜			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

- ・流通経済大学 (新松戸キャンパス) 内で、使用した「ハラールマーク」の認知度アンケート
- ・ムスリムの方向けに、作成した浅草エリアのガイドブック (PDF)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

ムスリムの日本観光は一苦労!? -日本料理を楽しんでもらうために-

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本研究は、ムスリムの訪日観光客が安心して日本料理を楽しみ、より充実した旅行のお手伝いをするを目的として、浅草でハラール認証を取得している日本料理店を紹介するガイドブックを作成することにしました。

現在、日本は、ムスリムの訪日観光客に対する食に関するインフラ整備が不十分であり、今後、国際化の進展とともに幅広く対応していくことが求められています。2015年8月26日に、観光庁が『ムスリムおもてなしガイドブック』を作成し、環境整備の促進を図っていますが、日本最大のムスリムの訪日観光客向けグルメ検索サイトに掲載されている店舗数も、不十分であるというのが現状です。

そこで私たちは、訪日観光客が多い浅草エリアを対象を絞り、ムスリムの訪日観光客向けに、ハラール認証を取得している日本料理店を紹介するガイドブックを作成することにしました。ハラール認証とは、各国が定めたハラールに関わる食品・医薬品・化粧品等の認証のことです。浅草を選定した理由は、ムスリムの訪日観光客に人気の日本の歴史・伝統文化体験等ができる観

光スポットが多数あるからです。

作成したガイドブックは、浅草文化観光センターや東武インフォメーションセンター浅草などの案内所、浅草名物の人力車で配布していただき、どのような場所にハラール認証を取得している日本料理店があるのかを把握できます。ムスリムの訪日観光客が安心して食事を楽み、より充実した旅行のお手伝いをするのが目的です。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

ASEAN（東南アジア諸国連合）に加盟している10カ国（インドネシア・マレーシア・タイ・フィリピン・シンガポール・ブルネイ・ベトナム・カンボジア・ラオス・ミャンマー）の総人口は6億4千万人にのぼり、日本の約5倍で、今後、巨大市場に育つ可能性を秘めています。近年、ビザ発給条件の緩和やLCC就航による旅費の低価格化を背景に、ASEAN諸国からの訪日観光客が増加しています。特にムスリムの訪日観光客の人口が多い、インドネシア・マレーシア・タイからの訪日観光客数が、近年高い伸び率を記録しています。ムスリムの訪日観光客を受け入れる側の日本は、飲食店・宿泊施設など様々な面で宗教的配慮を含めた対応をしていくことが求められています。

3. 研究テーマの課題

上述のように、ムスリムの訪日観光客が急速に増加しているため、彼らの「食事」に焦点を当てました。訪日旅行において、観光客の間では、観光庁の『訪日外国人消費動向調査』（2019年）によると、国や地域を問わず「日本食を食べること」が訪日前に最も期待されています。イスラムの教えでは、豚肉・アルコール・イスラム法に則って屠畜されていない動物が禁止されています。特に豚は、お肉・脂肪・皮・内臓・血液すべてが料理に使用され得る食材です。身近なアイスクリーム・マシュマロ・ヨーグルト・飴、そして日常生活で欠かせない化粧品等に豚の成分が使用されています。ハラールとは、イスラム教の教えに基づき「合法的なもの」「許されたもの」を示しています。先に述べた豚等は、ハラールの反対の意味を持つハラムに属します。

飲食店の食べ物や成分表示に関して、ムスリムの訪日観光客が自主的に判断できる為の情報公開が現在では不十分で、中には英語でメニューが表記されていても詳しい説明がなされていない為に、それがハラールに則った食べ物であるのか判断ができず不安を抱いているムスリムの訪日観光客もいます。

彼らが特に困っていることは、安心して食事ができる日本料理店が少ないことです。食べることができそうな材料のおにぎりや、自国から持参した食べ物を食べて過ごすケースもあるようで、日本料理が食べたいのに、ハラール認証を取得している日本料理を提供している飲食店が少ないこと、そしてそれらのお店がどこにあるのか分からないことが問題です。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上述のように、訪日旅行中の食事に不安を抱えていたり、不便な思いをしているムスリムの訪日観光客が多くいます。ムスリムの訪日観光客が自主的に判断できる為の情報公開を心掛け、英語表記をされているメニューをすること以外にも、詳細（成分・材料・調理法等）・ピクトグラムの使用によって情報が伝わるようにすることが大切です。

ムスリムの訪日観光客が安心して食べられる日本料理を提供している飲食店がどこにあるのか分からないことに関する問題についての解決策は、私たちが日本料理の飲食店のガイドブックを作成し、浅草文化観光センター等に配置してお店の情報を発信することです。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

流通経済大学新松戸キャンパス内で、「ハラールマーク」の認知度を図るために、約400名の学生にアンケート調査をしました。また、浅草を刊行中のムスリムの訪日観光客向けに、ハラール認証を取得した日本料理店を紹介するガイドブックを作成しました。作成したガイドブックは、10月から浅草観光文化センターやえびす屋（人力車）など、4箇所に20部ずつ置かせていただくことが決まっています。

上記のガイドブックの連絡先として、Twitterのアカウント「@KeizaiUniv」を開設しました。

6. 結果や今後の取り組み

ムスリムの訪日観光客の「食事」に焦点を当て研究をしていきました。日本料理を食べることを意識している訪日観光客の中でも、信仰している宗教の関係で安心して日本料理を楽しめない人々がいることが分かりました。ムスリムの訪日観光客が、日本料理の飲食店がどこにあるのか分からないことが多く、食べることができそうな材料のおにぎりや、自国から持参した食べ物を食べて過ごすケースがあるのが問題でした。今回は、浅草エリアで食べられる日本料理の飲食店をムスリムの訪日観光客向けに作成しまし

た。しかし、ムスリムの訪日観光客の礼拝場所等の問題が今でも多く残されています。日本が今後、国際化の波に乗り遅れないよう、より一層の取り組みが必要です。

7. 参考文献

<Web サイトからの引用>

- ・国土交通省観光庁 2019年9月21日
http://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_000137.html
- ・外務省『ASEAN(東南アジア諸国連合)概況』2019年9月21日
https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/asean/page25_001325.html
- ・国土交通省観光庁『ムスリムおもてなしガイドブック基礎知識編』2019年9月21日
www.mlit.go.jp/common/001101141.pdf
- ・平成30年度台東区観光統計・マーケティング調査報告書 [全体版] 平成30年度観光統計・マーケティング調査 (PDF:7,400KB) 2019年9月21日
http://www.city.taito.lg.jp/index/bunka_kanko/yukyaku/tyousatoukei/marketing/20190618.files/zen-taiban.pdf
- ・『東南アジアの訪日旅行の現状と課題 拡大するASEAN市場』2019年9月21日
日本政府観光局 (JNTO) 海外マーケティング部 次長 神田 辰明
<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kikaku/syoryudo/sectional-meeting-esa-rd01/no4.pdf>
- ・『拡大するハラル市場と現状～ハラルマーケットの基礎～』2019年9月21日
BRIブランド総合研究所 代表取締役社長 田中 章雄
<http://www.maff.go.jp/tohoku/kihon/yusyutu/kyougikai/pdf/tanaka-siryou.pdf>
- ・『ハラールとハラール認証について』2019年9月21日
独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO) 大阪本部 事業推進課 農林水産省・食品班 田辺知樹 2
<http://www.maff.go.jp/kinki/seisan/nousan/yusyutu/pdf/jetro.pdf>
- ・『我が国におけるハラール食品市場の現状と課題』著者 鶴岡 公幸 2019年9月23日
雑誌名 神田外語大学紀要 発行 神田外語大学 発行年 2017年3月31日
<http://id.nii.ac.jp/1092/00001400/>
- ・資料編 (PDF:9426) 一台東区 2019年9月23日
https://www.city.taito.lg.jp/index/bunka_kanko/yukyaku/newvision/TourismPromotionPlan.files/16siryou.pdf
https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/in_out.html
- <統計の引用>
- ・国土交通省観光庁『訪日外国人の消費動向 訪日外国人消費動向調査結果及び分析 平成29年1-3月期 報告書』図表 6-2 訪日前に最も期待していたこと (全国籍・地域、単一回答) 2019年9月23日
<http://www.mlit.go.jp/common/001182004.pdf>
- ・資料編 (PDF:9426) 一台東区 2019年9月23日
ウ。訪日外国人旅行者の年・観光地別訪問率 (平成22年) エ。訪日外国人旅行者の意識 (平成26年) 「訪日前に期待していたこと」問5 東京都で再び訪れたい所はありますか。(上位14位)
https://www.city.taito.lg.jp/index/bunka_kanko/yukyaku/newvision/TourismPromotionPlan.files/16siryou.pdf
- ・平成30年度台東区観光統計・マーケティング調査報告書 [全体版] 平成30年度観光統計・マーケティング調査 (PDF:7,400KB) 2019年9月23日
訪日外国人旅行者の行動 2017年 国・地域別訪日旅行に関する意識【今回したこと 複数回答】

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」（2017年）

http://www.city.taito.lg.jp/index/bunka_kanko/yukyaku/tyousatoukei/marketing/20190618.files/zen_taiiban.pdf

・国土交通省観光庁『訪日外国人旅行者数・出国日本人の推移』

https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoku/toukei/in_out.html

<書籍からの引用>

・『飲食店のためのおいしいハラル食導入ガイド 和洋中の一流料理人によるレシピ付き』著者 大坪 晏子/佐藤 増雄
発行 合同会社フードプラス 発行年月 2016年12月17日第1刷

・『レシピ30付 飲食店のためのハラル対策ハンドブック』著者© 一般社団法人ハラル・ジャパン協会
発行所名 株式会社柴田書店 初版印刷 2017年2月10日 初版発行 2017年2月25日

・『Q&A ハラルを知る101問 –ムスリムおもてなしガイド』著者 福島 康博
発行所名 株式会社 解放出版社 発行年月 2018年5月25日

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください